

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-2729

(P2010-2729A)

(43) 公開日 平成22年1月7日(2010.1.7)

(51) Int.Cl.		F I		テーマコード (参考)
G 1 O K 15/04 (2006.01)		G 1 O K	15/04 3 O 2 D	5 D O 4 4
G 1 1 B 20/10 (2006.01)		G 1 1 B	20/10 3 1 1	5 D 1 O 8
		G 1 1 B	20/10 D	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号	特願2008-162026 (P2008-162026)	(71) 出願人	301027292
(22) 出願日	平成20年6月20日 (2008. 6. 20)		株式会社 B M B
			東京都港区赤坂九丁目7番1号
		(74) 代理人	100157118
			弁理士 南 義明
		(74) 代理人	100139114
			弁理士 田中 貞嗣
		(74) 代理人	100088041
			弁理士 阿部 龍吉
		(74) 代理人	100092495
			弁理士 蛭川 昌信
		(74) 代理人	100109748
			弁理士 飯高 勉
		(74) 代理人	100139103
			弁理士 小山 卓志

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カラオケ録画装置

(57) 【要約】

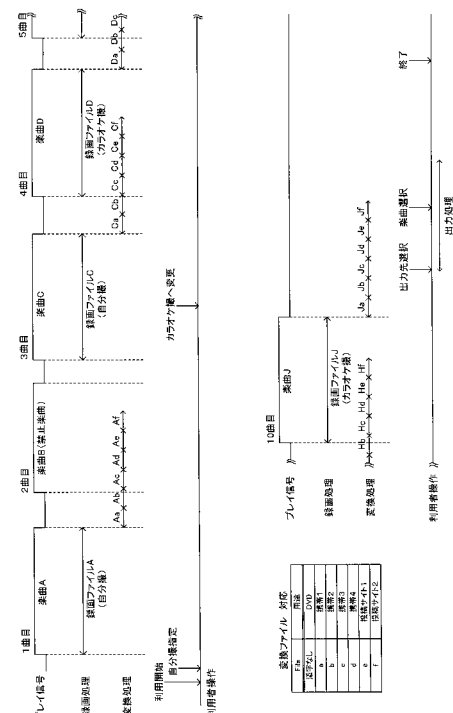
【課題】

カラオケ映像、カラオケ音声に基づく録画を行うカラオケ用録画装置において、多様な出力先への対応を即時に行う。

【解決手段】

本発明のカラオケ録画装置は、カラオケ映像、合成用映像、カメラ映像の少なくとも1つと、カラオケ音声に基づいて、楽曲毎に所定フォーマットの録画ファイルを作成して録画ファイル記憶手段(404)に記憶させる録画処理と、録画処理での録画ファイル作成直後、出力先に対応した複数のフォーマットにて当該録画ファイルを変換して録画ファイル記憶手段(404)に記憶させる変換処理と、利用者に対して複数の出力先を提示して出力先の指定を受け付け、指定された出力先に対応したフォーマットの録画ファイルを出力する出力処理を行うことを特徴としている。

【選択図】 図8



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

合成用映像記憶手段と、制御手段と、録画ファイル記憶手段とを備え、カラオケ映像とカラオケ音声を出力するカラオケ演奏装置と、カメラ映像を出力するカメラが接続されるカラオケ録画装置であって、

合成用映像記憶手段は、合成用映像を記憶し、

制御手段は、録画処理と、変換処理と、出力処理を可能とし、

録画処理は、カラオケ映像、合成用映像、カメラ映像の少なくとも１つと、カラオケ音声に基づいて、楽曲毎に所定フォーマットの録画ファイルを作成して録画ファイル記憶手段に記憶させ、

変換処理は、録画処理での録画ファイル作成直後、出力先に対応した複数のフォーマットにて当該録画ファイルを変換して録画ファイル記憶手段に記憶させ、

出力処理は、利用者に対して複数の出力先を提示して出力先の指定を受け付け、指定された出力先に対応したフォーマットの録画ファイルを出力する

カラオケ録画装置。

【請求項 2】

出力先の１つは、記録媒体である

請求項 1 に記載のカラオケ録画装置。

【請求項 3】

出力先の１つは、携帯情報端末であり、

変換処理は、携帯情報端末のキャリア会社または機種に応じたフォーマットへの変換を行う

請求項 1 または請求項 2 に記載のカラオケ録画装置。

【請求項 4】

出力先の１つは、動画投稿サイトであり、

変換処理は、動画投稿サイトに応じたフォーマットへの変換を行う

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか１つに記載のカラオケ録画装置。

【請求項 5】

出力先は、複数種類の携帯情報端末であり、

変換処理は、各携帯情報端末のキャリア会社または機種に応じたフォーマットへの変換を行う

請求項 3 に記載のカラオケ録画装置。

【請求項 6】

出力先は、複数の動画投稿サイトであり、

変換処理は、各動画投稿サイトに応じたフォーマットへの変換を行う

請求項 4 に記載のカラオケ録画装置。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、利用者の指示にしたがって演奏を行うカラオケ演奏装置に接続、あるいは、カラオケ装置と一体に形成され、当該カラオケ演奏装置が出力する音声信号、映像信号、あるいは、カメラからの映像信号などを取得し、それらに基づいて録画を行うカラオケ録画装置に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、カラオケボックスや飲食店等において、演奏に合わせて歌唱を楽しむカラオケ装置では、自宅での練習、あるいは他人に聞かせることを目的として歌唱した楽曲を録音して持ち帰るサービスが提供されている。また、音声のみならず歌唱している様子をビデオカメラにより録画して持ち帰るサービスもみられる。

【0003】

10

20

30

40

50

一方、レコード会社や芸能事務所は、会場を設けてオーディションを開催する人材発掘の他に、募集をかけて集めたデモテープによる審査による人材発掘が行われている。このようなデモテープの収録は、音響条件の整ったスタジオ施設にて行えば音響効果の優れた録音を行うことができるが、スタジオ施設を気軽に利用できない一般の利用者にとっては、自宅などで録音しなくてはならず音響効果の整ったデモテープ作成は非常に困難である。

【 0 0 0 4 】

以上のような利用者の需要の中、特許文献 1 には、カラオケボックスや飲食店などなどにおいて利用者がカラオケ歌唱しているところを、ビデオカメラにて自動撮影し、撮影した映像と歌唱した音声を記録用テープに記録するカラオケビデオシステムが記載されている。

10

【 0 0 0 5 】

また、特許文献 2 には、カラオケ装置から伴奏音楽と歌唱音楽の音響信号を取得し、カラオケ装置から取得した録音可否情報に基づいて録音可能であることを確認した上で、ビデオカメラからの映像信号とカラオケ装置からの音響信号に基づいて A V ファイルを一時記憶装置に書き込み、利用者からの A V ダンプ要求にてダンプ要求があった A V ファイルを一時記憶装置から可搬型記録媒体としての C D - R に書き込むカラオケ録画装置が記載されている。

【 0 0 0 6 】

また、特許文献 3 には、ブロードバンド化された通信カラオケシステムを活用したカラオケ付加価値サービスとして、利用者の歌唱を録音した歌唱録音作品を事業者側にて管理する所定のコンピュータに送信し、コンピュータ側で受託した歌唱録音作品を適宜に活用するサービス（録音作品受託サービス）について記載されている。この録音作品受託サービスとしては、利用者から受託した録音作品を専門の審査員に転送して添削してもらうカラオケ通信教習方法があげられている。

20

【 0 0 0 7 】

このように、カラオケにおける歌唱の録音、録画は、カラオケボックスなど音響施設の整った環境を利用することで改善され、また、デモテープ作成においても同環境を利用することで音響効果の整ったものが作成可能となっている。

【特許文献 1】特開平 1 1 - 3 2 7 5 7 6 号公報

30

【特許文献 2】特開 2 0 0 2 - 2 4 4 6 7 5 号公報

【特許文献 3】特開 2 0 0 5 - 2 4 1 7 4 3 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 8 】

近年の技術の進歩に伴い、動画像を鑑賞する楽しみ方は、従来のテレビのみならずパーソナルコンピュータや、携帯電話、P D A、携帯型 A V プレーヤなどの携帯情報端末、あるいは、インターネットによる配信など多岐にわたるものとなっている。このような各種装置では、それが扱うことのできる動画フォーマットが制限されている場合が多く、携帯電話においては、携帯キャリア会社や携帯機種毎に再生できる動画フォーマットは多様化している。

40

【 0 0 0 9 】

また、最近ではインターネットを利用し、利用者から募った動画像をインターネットを介して広く公開する動画投稿サイトによるサービスが人気を集めている。これらの動画投稿サイトにおいても扱うフォーマットは、携帯電話や D V D のものとは異なったものとなっている。

【 0 0 1 0 】

前述したように、歌唱する場で録音、録画を行うサービスを提供することで利用者の楽しみの幅を広げてきたカラオケではあるが、特許文献 1 では録画の対象となる記録媒体はビデオテープであり、また、特許文献 2 では記録媒体は C D - R であって、そのどちらに

50

においても1つの記録媒体にしか対応していない。また、特許文献3では、録音作品を審査員に転送して添削してもらうサービスのために、歌唱録音作品を所定のコンピュータに送信することを目的としている。このように、従来のカラオケ録音、録画を行う装置にあつては、多様な出力先が考慮されたものとはなっていない。

【課題を解決するための手段】

【0011】

本発明は、従来の問題や不都合を解決するために提案されたもので、カラオケの録音、録画を行った際、記録媒体、携帯情報端末、インターネットによる動画投稿など多様な出力先に対応できるカラオケ録画装置を提案するものである。

【0012】

そのため、請求項1に係るカラオケ録画装置は、合成用映像記憶手段と、制御手段と、録画ファイル記憶手段とを備え、カラオケ映像とカラオケ音声を出力するカラオケ演奏装置と、カメラ映像を出力するカメラが接続されるカラオケ録画装置であつて、合成用映像記憶手段は、合成用映像を記憶し、制御手段は、録画処理と、変換処理と、出力処理を可能とし、録画処理は、カラオケ映像、合成用映像、カメラ映像の少なくとも1つと、カラオケ音声に基づいて、楽曲毎に所定フォーマットの録画ファイルを作成して録画ファイル記憶手段に記憶させ、変換処理は、録画処理での録画ファイル作成直後、出力先に対応した複数のフォーマットにて当該録画ファイルを変換して録画ファイル記憶手段に記憶させ、出力処理は、利用者に対して複数の出力先を提示して出力先の指定を受け付け、指定された出力先に対応したフォーマットの録画ファイルを出力することを特徴とするものである。

【0013】

さらに、請求項2に係るカラオケ録画装置では、請求項1に記載のカラオケ録画装置において、出力先の1つは、記録媒体とすることを特徴とするものである。

【0014】

さらに、請求項3に係るカラオケ録画装置では、請求項1または請求項2に記載のカラオケ録画装置において、出力先の1つは、携帯情報端末であり、変換処理は、携帯情報端末のキャリア会社または機種に応じたフォーマットへの変換を行うことを特徴とするものである。

【0015】

さらに、請求項4に係るカラオケ録画装置では、請求項1乃至請求項3のいずれか1つに記載のカラオケ録画装置において、出力先の1つは、動画投稿サイトであり、変換処理は、動画投稿サイトに応じたフォーマットへの変換を行うことを特徴とするものである。

【0016】

さらに、請求項5に係るカラオケ録画装置では、請求項3に記載のカラオケ録画装置における出力先を、複数種類の携帯情報端末とし、変換処理は、各携帯情報端末のキャリア会社または機種に応じたフォーマットへの変換を行うことを特徴とするものである。

【0017】

さらに、請求項6に係るカラオケ録画装置では、請求項4に記載のカラオケ録画装置における出力先を、複数の動画投稿サイトとし、変換処理は、各動画投稿サイトに応じたフォーマットへの変換を行うことを特徴とするものである。

【発明の効果】

【0018】

本発明によれば、録画処理にて所定フォーマットの録画ファイルを作成し、録画処理の直後に、当該録画ファイルを出力処理において選択肢となる出力先に応じたフォーマットへ変換するため、利用者が出力先を指定した出力処理を行うときには、対応するフォーマットの録画ファイルを即時に用意することができ、迅速な出力処理を行うことができる。

【0019】

さらに、本発明では、出力先として記録媒体、携帯情報端末、動画投稿サイトといった出力先が選択可能であり、それぞれに応じたフォーマットの録画ファイルが用意されるこ

10

20

30

40

50

となる。

【 0 0 2 0 】

さらに、本発明では携帯情報端末のキャリア会社毎、あるいは、機種毎に対応したフォーマットの録画ファイルを作成することにより、携帯情報端末に対応したフォーマットの録画ファイルをダウンロードすることができる。さらには、録画装置側にて当該フォーマットの録画ファイルを予め作成してホスト装置へアップロードすることで、ホスト装置側でのフォーマット変換を行う必要が無く、ホスト装置側での処理を軽減することができる。

【 0 0 2 1 】

さらに、本発明では、本発明では動画投稿サイトに対応したフォーマットの録画ファイルを作成することにより、動画投稿サイトに対応したフォーマットの録画ファイルを当該サイトにアップロードすることができる。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 2 2 】

以下、本発明の実施形態を図面を参照しながら説明を行う。図 1 は、本発明の実施形態に係るカラオケシステムを示した図であり、特に、1 店舗に複数のコマンド、いわゆるカラオケ演奏装置を設置して営業を行うカラオケボックスとしての一実施形態を示した図である。

【 0 0 2 3 】

図 1 において、5 0 は通信網、6 0 はルータ、7 0 は無線アクセスポイント、1 0 0 はホスト装置、1 0 1、1 0 2 は動画投稿サイト、1 0 3 は携帯サイト、2 0 0 はリモコン装置、3 0 0 はコマンド、4 0 0 は録画装置をそれぞれ示している。本実施形態において、カラオケ演奏装置としての各コマンド 3 0 0 は r o o m 1 ~ r o o m 3 毎に 1 台ずつ設置され、リモコン装置 2 0 0 からリクエストされた楽曲の演奏を行う。

20

【 0 0 2 4 】

例えば、コマンド 1 が設置される r o o m 1 には 1 台のリモコン装置 1 と、1 台の録画装置 1 が配置される。コマンド 1 は、リモコン装置 1 と対応付けられており、L A N を介してリモコン装置 1 からの楽曲リクエストを受け付けることができる。コマンド 2 が設置される r o o m 2 は、r o o m 1 と同様の配置であって、コマンド 2、リモコン装置 2、録画装置 2 が設置されている。また、コマンド 3 が設置された r o o m 3 は 2 台のリモコン装置 3 - 1、3 - 2 が配置され、コマンド 3 はリモコン装置 3 - 1、3 - 2 の両方に対応付けられており、どちらからも楽曲リクエストを受け付けることができる。なお、各コマンド 3 0 0 のフロントパネルなどに設けられた入力手段からも楽曲のリクエストを行うことができる。

30

【 0 0 2 5 】

各コマンド 3 0 0 は、L A N によってルータ 6 0 と接続されており、インターネット回線などの通信網 5 0 を介してホスト装置 1 0 0 と通信接続される。このように通信接続されることで各コマンド 3 0 0 は、ホスト装置 1 0 0 から楽曲配信や、プログラム配信を受け取ることができると共に、ホスト装置 1 0 0 に対して利用履歴など各種の情報を送信することができる。

40

【 0 0 2 6 】

ホスト装置 1 0 0 は、楽曲配信、プログラム配信や、各種情報を受信するといったコマンド 3 0 0 に対する遠隔管理を行うと共に、録画装置 4 0 0 から受信した録画映像を保管し、利用者の携帯情報端末に配信する機能を有する。この他、受信した録画映像を、動画投稿サイト 1 0 1、1 0 2 や、携帯サイト 1 0 3 などに通信網 5 0 を介して広く一般に公開する機能も備えている。

【 0 0 2 7 】

無線アクセスポイント 7 0 は、各コマンド 3 0 0 が接続される L A N 上に接続されており、各リモコン装置 2 0 0 と無線通信を行うことを可能としている。このように各リモコン装置 2 0 0 が L A N に接続されることで、コマンド 3 0 0 と同様、通信回線を介してホ

50

スト装置 100 と通信を行うことができると共に、予め対応付けられているコマンド 300 に対して楽曲をリクエストすることができる。

【0028】

room1、room2 には、本願発明のカラオケ録画装置の実施形態である録画装置 400 が設置される。録画装置 400 はコマンド 300、そして、LAN に接続される。このように接続することでコマンド 300 が出力する映像信号、音声信号を録画することができる。また、LAN に接続されることでコマンド 300 との各種制御信号の送受信、並びに、通信網 50 を介したスト装置 100、各種サーバ装置などとの通信を可能としている。

【0029】

本実施形態では、LAN を介して複数のコマンド 300 が接続された、いわゆるカラオケボックスでの営業形態を説明したが、スナックなどのナイト店においては、例えば、room1 のようなコマンド 300、録画装置 400、リモコン装置 200 が設置された構成が採用され、場合によっては、room3 のように複数のリモコン装置 200 を設置されることとなる。

【0030】

次に、カラオケ演奏装置としてのコマンド 300 についてより詳しく説明する。図 2 はコマンド 300 及びそれに付属する各種周辺機器を示す図である。301 はコマンド制御手段、302 はコマンド通信手段、303 はフロントパネル表示手段、304 は表示制御手段、305 はコマンド記憶手段、306 はコマンド入力手段、307 はコマンドインタフェース、308 は音源、309 はミキシング手段、501 はアンプ、502 はスピーカー、503 はマイクロフォン、504 はディスプレイをそれぞれ示している。

【0031】

コマンド制御手段 301 は、CPU、ROM、RAM などを含んで構成され、コマンド 300 全体の制御を行う。コマンド記憶手段 305 にはハードディスク、フラッシュメモリドライブなどの大容量記憶手段が用いられ、スト装置 100 から受信した楽曲データ、映像データやカラオケ演奏以外の機能を実行させるプログラムなどのデータが記憶される。

【0032】

コマンド通信手段 302 は、周知規格の有線 LAN が採用され、リモコン装置 200 との間での各種制御命令の送受信や、楽曲データ、映像データ、各種プログラムをスト装置 100 から受信するために用いられる。また、同じ LAN 上に配置された録画装置 400 など、その他の機器に接続することも可能であって、他の機器との間で情報の送受信が可能とされる。コマンド入力手段 306 は、コマンド 300 のフロントパネルなどに設けられた各種スイッチ機能であり、予約選曲、キーコントロール、音量調整など各種機能を手動設定が可能となっている。

【0033】

表示制御手段 304 は、カラオケを行う際、背景映像と歌詞映像を合成したカラオケ映像や、その他各種映像をディスプレイ 504 に表示するための表示制御を行う。また、録画装置 400 に対してカラオケ映像を外部出力する。本実施形態では、この外部出力としてのカラオケ映像として背景映像と歌詞映像が重畳されたものを用いることとしたが、この実施形態に限ることなく、例えば、適宜制御にてカラオケ映像の内容を、背景映像のみ、歌詞映像のみ、背景映像と歌詞映像を合成したものといったように録画装置 400 に選択出力可能としてもよい。また、背景映像と歌詞映像を別々の外部出力として録画装置 400 に提供してもよい。この場合、録画装置 400 にて録画する映像が選択できるように構成される。

【0034】

音源 308 は、MIDI、PCM、MP3 といった形式の楽曲データに基づいて楽音信号を形成する。ミキシング手段 309 は、音源 308 が形成した複数の楽音信号とマイクロフォン 503、503' から入力される歌唱者の歌唱音声信号を適宜なバランスで混

10

20

30

40

50

合する。このミキシング手段 309 で混合された音声信号はアンプ 501 に出力されてスピーカ 502 から放音出力されることとなる。また、本実施形態では、スピーカ 501 への出力以外に、別途アンプ 501 の REC OUT 端子からカラオケ音声を取り出して録画装置 400 において録音の対象としている。この実施形態に限ることなく、録画装置 400 への出力をミキシング手段 309 から取り出し、適宜制御にて楽音のみ、または、楽音と歌唱音声とがミキシングされたものに切り換え出力可能なようにしてもよい。または、録画装置 400 に対して、楽音と歌唱音声を別々に提供し、録画装置側で録音の対象を選択できるように構成することでも構わない。

【0035】

コマンドインタフェース 307 は、演奏の開始、終了に伴ったプレイ信号を出力する。このプレイ信号は、本来、コマンドが接続されるコインボックスを制御するための信号であり、コマンドが楽曲を演奏している最中は 5V の電圧を出力し、演奏していないときは 0V の電圧を出力する。接続されたコインボックスは、このプレイ信号を監視して課金制御を行うこととなるが、本実施形態では、このプレイ信号を利用して録画装置 400 の録画開始、終了の制御が行われる。

10

【0036】

以上、コマンド 300 の主要構成について説明したが、この他、従来のリモコン装置で使用される IR 信号を送受信可能とする IR 通信手段を設け、IR 信号を利用するリモコン装置からの楽曲リクエストにも対応できる構成としてもよい。

【0037】

次に、カラオケ録画装置としての録画装置 400 についてより詳しく説明する。図 3 は録画装置 400 及びそれに付属する各種周辺機器を示す図である。401 は制御手段、402 は通信手段、403 は表示制御手段、404 は記憶手段、405 は DVD ドライブ、406 は USB インタフェース、407 は取込手段、507 は表示手段 505、タッチ式センサ 507 にて構成されるタッチパネル、508 はカメラをそれぞれ示している。

20

【0038】

制御手段 401 は、CPU、ROM、RAM などを含んで構成され、録画装置 400 全体の制御を行う。記憶手段 404 にはハードディスク、フラッシュメモリドライブなどの大容量記憶手段が用いられ、各種制御プログラム、合成用映像、記録禁止楽曲の楽曲 ID を記載した禁止リスト等を記憶している。また、録画処理で得られた録画ファイルについてもこの記憶手段 404 に記憶される。

30

【0039】

通信手段 402 は、周知規格の有線 LAN などが採用され、コマンド 300 と同様、通信網を介してホスト装置 100 との各種情報の送受信を可能としている。また、対応付けられたコマンド 300 とも互いに通信可能であって、コマンド 300 で演奏している楽曲情報や、コマンド 300 に予約されている楽曲を示す予約リストなど、コマンド 300 で管理している各種情報を取得することを可能としている。

【0040】

表示制御手段 403 は、制御手段 401 からの制御に基づいて表示手段 505 に各種の表示を行う。本実施形態では、主として録画処理や出力処理の利用者に対する案内表示が行われる。

40

【0041】

入力手段としてのタッチ式センサ 506 は、利用者の指やスタイラスなどでタッチすることによる入力操作が可能である。このタッチ式センサ 506 による入力を可能とするため、表示手段 505 にはタッチ式センサ 506 に対する制御と連動した表示画像が表示されるようにプログラムされる。このタッチ式センサ 506 と表示手段 505 により、いわゆるタッチパネル 507 が構成される。なお、本実施形態では、入力手段としてタッチ式センサ 506 を用いた構成を示したが、入力手段はこれに限定されるものではなく、例えば、キーボード、カーソルキーなどの機械的なものに代えてもよい。また、これらをタッチ式センサ 206 と併せて用いても構わない。

50

【 0 0 4 2 】

取込手段 4 0 7 は、コマンド 3 0 0 からの各種信号を受信するインタフェースであって、本実施形態では、コマンド 3 0 0 からカラオケ映像と、カラオケ音声を受信して録画装置 4 0 0 に取り込む。また、コマンド 3 0 0 からプレイ信号を受信し、録画装置 4 0 0 は、このプレイ信号を監視することで、楽曲の開始、終了が判断できるようになっている。このプレイ信号を利用することで、従来からのコマンド 3 0 0 が利用でき、新たなハードを追加することなく楽曲の開始、終了のタイミングが判断できる。このように、本実施形態では、楽曲の開始、終了のタイミング判断に、コマンド 3 0 0 からのプレイ信号を利用することとしたが、これに限定されるものではなく、録画装置 4 0 0 はコマンド 3 0 0 とを接続する L A N を介した制御信号に基づいて楽曲の開始、終了、更にはどの楽曲が演奏されるのかを判断するようにしてもよい。

10

【 0 0 4 3 】

U S B インタフェース 4 0 6 は、各種外部機器を複数接続可能とするインタフェースである。本実施形態では、この U S B インタフェース 4 0 6 を介して動画撮影可能なカメラ 5 0 8 が接続される。カメラ 5 0 8 以外にも携帯型 A V プレーヤや、携帯型ゲーム装置など、それ自体で映像、音声を再生可能な携帯情報端末を接続できる。

【 0 0 4 4 】

D V D ドライブ 4 0 5 は、録画されたファイルを記録媒体としての D V D に書き込むために用いられる書込手段である。本実施形態では、D V D の所定記録領域に識別子を入れた専用 D V D のみ扱うことを可能としている。利用者は、D V D に録画する際は、店舗にて予め専用 D V D を購入し、D V D ドライブ 4 0 5 にセットして録画ファイルを書き込ませる。また、識別子を複数種類設とし、この識別子の種類毎に録画ファイルの書き込み数、録画ファイルの種類などを制限してもよい。

20

【 0 0 4 5 】

なお、本実施形態では、録画装置 4 0 0 は、カラオケ演奏装置としてのコマンド 3 0 0 と別体構成としたが、これらを一体構成することで、カラオケ録画装置をカラオケ演奏装置の一機能として実現しても構わない。その際、録画装置 4 0 0 における各種構成はコマンド 3 0 0 と兼用されることとなる。例えば、録画装置 4 0 0 における制御手段 4 0 1、通信手段 4 0 2、記憶手段 4 0 4 などは、コマンド 3 0 0 におけるコマンド制御手段 3 0 1、コマンド通信手段 3 0 2、コマンド記憶手段 3 0 5 などと兼用される。また、録画装置 4 0 0 における表示手段 5 0 5、タッチ式センサ 5 0 6 といった入力インタフェースは、リモコン装置 2 0 0 から行えるよう構成してもよい。

30

【 0 0 4 6 】

以上、本発明が利用するカラオケシステム、コマンド、録画装置の構成について説明を行ったが、次に、本発明において特徴となる録画装置での各種処理について詳しく説明を行う。図 4、図 5 は、本実施形態における録画装置において利用可能とする各種録画モードを説明する図である。図 4 は、録画装置の利用開始時に利用者に対しタッチパネル 5 0 7 により提示する録画モード選択画面であり、図 5 は、本実施形態における各録画モードにおいて、録音、録画の対象内容を示した図である。

【 0 0 4 7 】

図 4 に示すように、本実施形態においては、自分撮、カラオケ撮、芸能コンテンツの 3 つの録画モードが選択可能となっている。録画装置の利用開始時には、タッチパネル 5 0 7 上にこの画面を利用者に提示して各モードの指定を受け付ける。各録画モードの録音、録画内容は、本実施形態においては、図 5 (A) に示したものとなる。

40

【 0 0 4 8 】

まず、自分撮モードにおいては、カメラ映像を録画の対象とし、カラオケ音声を録音の対象とする。このような録音、録画の内容によれば、カメラにて撮影した歌唱者の動画と楽音に伴った歌唱者の歌声を記録することができる。

【 0 0 4 9 】

次に、カラオケ撮モードにおいては、カラオケ映像を録画の対象とし、カラオケ音声を

50

録音の対象とする。このような録音、録画によれば、通常、カラオケにおいて利用する楽音と歌詞映像と背景映像で構成されたカラオケ映像を記録することができ、これを持ち帰った利用者は自宅などで歌唱の練習を行うことができる。図2、図3で説明した実施形態では、利用者が歌唱を行った場合、歌唱音声がカラオケ音声に含まれてしまい歌唱の練習においては不都合となってしまうが、後に説明するようにカラオケ音声を楽音と歌唱音声で分けておくことで楽音のみを記録する形態も可能である。

【0050】

次に、芸能コンテンツにおいては、カメラ映像と合成用映像を録画の対象とし、カラオケ音声を録音の対象とする。カメラ映像と合成用映像は合成された上で録画されることとなるが、合成用映像を背景にカメラ映像を前景として合成してもよいし、カメラ映像を背景に合成用映像を前景として合成してもよい。どちらの場合においても前景となる映像に対しては、例えば、ブルーバックを利用したクロマキー処理などで合成する部分を切り抜く処理が必要となる。このような芸能コンテンツでは、合成用映像として、歌手やお笑い芸人などといった芸能人を用意することで、利用者は芸能人と一緒に撮影された映像を楽しむことが可能となる。特に、歌手を合成用映像とする場合には映像とカラオケ楽曲を対応付けておくことで、カラオケ楽曲にマッチした合成用映像を付与することができる。対応付けは、歌手対応であってもよいし、楽曲対応としてもよい。

【0051】

以上、図2のコマンド、図3の録画装置において、カラオケ映像、カラオケ音声それぞれ1出力とした場合について説明したが、カラオケ映像、カラオケ音声の内容を図5(B)に示すように細分化しても構わない。この実施形態は、図2、図3において補足説明をしたようにコマンド300からの映像、音声出力、あるいは、録画装置400における映像、音声入力を適宜制御することで実現可能となる。

【0052】

図5(B)に示すようにカラオケ映像は、背景映像と歌詞映像に分けられ、カラオケ音声は楽音と歌唱音声に分けられる。このように構成することで、映像については、各モードにおいて歌詞映像を付与するか、しないかの設定を行うことが可能となると共に、音声については、特に、カラオケ撮モードにおいて歌唱音声を含めるか否かの設定が可能となる。これらの設定はあらかじめ決められたものとしてもよいし、図4の録画モード選択などにおいて利用者が設定できるようにしてもよい。

【0053】

次に本発明の実施形態となる録画処理、変換処理について図6、図7を用いて詳しく説明を行う。図6は、本発明の実施形態である自分撮モードにおける録画待機中画面を示した図であり、図7は、1楽曲を録画する際の録画装置とコマンドの処理を示した図である。

【0054】

図6は、録画装置400の利用開始後、図4において自分撮モードを選択した場合の録画待機中画面を示した図である。画面中央にはカメラ508で撮影しているカメラ映像が動画像としてリアルタイムに表示され、利用者はこの映像により画角を確認することができ、画角内で所望の位置に収まるように自分の位置を決める。

【0055】

また、画面下方には「試聴」、「投稿」、「携帯にダウンロード」、「DVDを作る」、「終了」といった各種ボタンが配置され、これらを利用者が操作することでボタンに応じた処理がなされる。録画ファイルが作成された後「試聴」ボタンにタッチすると、それまでに録画したカラオケ楽曲の一覧が表示され、選択された録画ファイルの試聴を同画面で行うことができる。また、録画ファイルが作成された後、「投稿」、「携帯にダウンロード」、「DVDを作る」といった各ボタンにタッチすることで、それぞれに応じた出力処理を開始する。この出力処理については後述する。

【0056】

図6の画面でカメラの画角に収まるように自分の位置を決めた後、コマンド300側で

10

20

30

40

50

カラオケ楽曲の再生が開始されると、図 7 に示すコマンド 3 0 0 と録画装置 4 0 0 間の処理にて 1 楽曲の録画が行われる。まず、コマンド 3 0 0 側にてカラオケ楽曲の演奏が開始されるとプレイ信号が 0 V から 5 V に立ち上がる。これを検知した録画装置 4 0 0 側は、演奏される楽曲情報をコマンド 3 0 0 に通信手段 4 0 2 を介して要求する。この要求に応えコマンド 3 0 0 は、録画装置 4 0 0 に楽曲情報をコマンド通信手段 3 0 2 を介して返信する。この楽曲情報は、録画したファイルのインデックスとして一緒に記録されると共に、録画禁止楽曲か否かの判断にも用いられる情報であり、楽曲 ID、曲名、歌手名などを含んで構成されている。

【 0 0 5 7 】

楽曲情報を受信した録画装置 4 0 0 は、記憶手段 4 0 4 に記憶している禁止リストを参照して録音、録画が禁止されている楽曲か否かを判断する。この禁止リストは録画装置 4 0 0 の記憶手段 4 0 4 に記憶されているものであり、録音、禁止されている楽曲 ID を記述したものである。また、禁止リストは通信手段 4 0 2 により更新することが可能であって、著作権などの契約内容の変更にもなっており、ホスト装置 1 0 0 側から変更することができる。

【 0 0 5 8 】

禁止楽曲であると判断された場合には、当該楽曲の録音、録画を禁止すると共に、その旨を表示手段 5 0 5 に表示する。このように表示することで利用者は、当該楽曲が録音、録画できない楽曲であることを認知できる。一方、禁止楽曲でない場合には、録画モードに応じた内容にて録音、録画を開始する。このように、コマンド 3 0 0 側でカラオケ楽曲の再生が開始されてから、録画装置 4 0 0 にて録画開始されるまでいくつかの処理が行われるが、これらの処理はごく短時間で終了するため、録画開始遅延による録画ファイルの頭切れの心配はない。カラオケ楽曲の再生が完了すると、プレイ信号は 5 V から 0 V となり、このプレイ信号の変化を検知した録画装置 4 0 0 は録画を停止する。

【 0 0 5 9 】

以上、説明した処理により 1 楽曲単位での録画処理について説明したが、次に、図 8 を用いて、本実施形態における録画装置の録画開始から出力するまでの一連の処理を説明する。

【 0 0 6 0 】

図 8 は、録画処理、変換処理、出力処理の一連の流れとなるタイムチャートを示した図であり、上からプレイ信号、録画処理、変換処理、利用者の操作を時系列で示している。プレイ信号は、コマンド 3 0 0 におけるカラオケ楽曲の演奏状況に対応するものであって、信号の立ち上がっている部分 (5 V) は、カラオケ楽曲が演奏されていることを、信号が立ち下がる部分 (0 V) は、カラオケ楽曲の曲間を示したものとなっている。

【 0 0 6 1 】

図 8 では、利用者が録画装置 4 0 0 を利用開始して、1 0 曲のカラオケ楽曲を演奏した後、出力処理を行うこととしているが、この例に限らず、出力処理は 1 曲以上の録画処理が完了した後は、いつでも実行することが可能である。まず、利用者の操作により録画装置 4 0 0 の利用が開始されると、図 4 に示した録画モード選択画面においてどの録画モードで録画を行うかが利用者に問われる。図 8 では、利用開始時に自分撮が指定された状況を示している。なお、本実施形態においては、録画モードは、利用者による変更が行われるまでは、次のカラオケ楽曲となっても維持されるように構成されている。また、利用者による録画モードの変更は、タッチパネル 5 0 7 からいつでも受け付けできるように構成されており、受け付けた録画モードの変更は次のカラオケ楽曲から反映されることとなる。このような構成により、利用者はいつでも録画モードの変更が可能となると共に、演奏途中で録画モードが変更されて録画されることがないため違和感のない録画が可能となる。

【 0 0 6 2 】

このように、録画モードとして自分撮が指定された上で、コマンド 3 0 0 による 1 曲目のカラオケ楽曲 A の演奏が開始されると、図 7 にて説明した処理に従って録画処理が開始

され、楽曲 A に対応する録画ファイル A が適宜フォーマットにて作成されて記憶手段 404 に記憶される。録画ファイルの作成はハードウェア、ソフトウェアのどちらで行っても構わない。本実施形態では、この録画ファイル A のフォーマットを M P E G 2 形式とし、後の出力処理において、D V D への出力にそのまま利用できるものとなっている。この形態に限ることなく、録画処理での録画ファイル作成フォーマットは必要に応じて適宜変更可能である。また、作成した録画ファイルには、コマンド 300 から取得した各種楽曲情報、録画モードを示す情報、録画日時などがインデックスとして付与される。

【0063】

1 曲目のカラオケ楽曲 A の演奏が終了すると共に、同楽曲の録画処理が終了して録画ファイル A が完成すると、その直後、録画ファイル A に対する変換処理が開始される。この処理は、後の出力処理において指定可能となる出力先に対応した各種フォーマットへの変換であり、本実施例では、各種携帯電話や、各種投稿サイトに適したフォーマットに順次変換されて記憶手段 404 に格納される。本実施形態においては a ~ f の添字が付された 6 種類のファイルに変換され、楽曲 A については録画ファイル A a ~ A f に順次変換される。添字 a ~ d は携帯電話用の動画フォーマットであることを示し、各携帯キャリア会社、あるいは、携帯電話の機種で使用する動画フォーマットとなる。また、添字 e、f は投稿サイト用に変換された動画フォーマットとなる。

10

【0064】

以上の 1 曲目のカラオケ楽曲 A に対する録画処理、変換処理にて、出力先として D V D、各種携帯電話、各種投稿サイト用の動画ファイル A、A a ~ A f が記憶手段 404 に格納される。このように、録画処理の直後に変換処理を行うため、後の出力処理やホスト装置 100 側にて更なる変換を行う必要はなく、出力先に応じたフォーマットの動画ファイルを選択出力するのみでよい。なお、出力先としては、これらに限られるものではなく、例えば、録画装置 400 の U S B インタフェース 406 を介して接続される携帯型 A V 再生器などの各種外部機器を設けてもよい。

20

【0065】

2 曲目のカラオケ楽曲 B は禁止楽曲であるため、図 7 に示した処理にしたがって録画処理は禁止される。3 曲目のカラオケ楽曲 C は、1 曲目に引き続き自分撮モードにて録画処理が行われることとなるが、図に示すように楽曲 C の演奏中に利用者操作によるカラオケ撮モードへの変更があったとしても、カラオケ楽曲 C については演奏が終了するまで自分撮モードが維持される。カラオケ撮モードへの変更は次曲のカラオケ楽曲 D から反映される。このように構成することで、利用者はいつでも録画モードを変更することができると共に、楽曲単位で録画モードが変更されるため違和感のない録画ファイル作成が可能となる。4 曲目のカラオケ楽曲 D は、3 曲目途中で変更された録画モードの変更が反映され、カラオケ撮モードに変更されて録画処理が実行される。

30

【0066】

10 曲目のカラオケ楽曲 J の演奏終了後、図 6 の画面下方に表示される「投稿」、「携帯にダウンロード」、「D V D を作る」といったボタンを操作することで出力先が選択されると、各出力先に応じた出力処理が開始される。本実施形態においてこの出力処理は、楽曲演奏終了後としているが、録画処理において少なくとも 1 つ録画ファイル作成されている状態であるならばそのタイミングを問うものではなく、録画処理、変換処理などと並行して実行しても構わない。

40

【0067】

出力処理の詳細については後ほど説明を行うこととするが、D V D を作る場合には記録媒体としての D V D への書き込み処理を、投稿サイトへの投稿や携帯情報端末へのダウンロードを行う場合には、各種ホスト装置への送信を行いその処理が完了する。

【0068】

出力処理のための操作を終えた利用者は、終了操作を行い録画装置 400 の利用を終了させる。この時点で、変換処理、出力処理が完了している場合には、記憶手段 404 に記憶した各種録画ファイルを消去し、完了していない場合には、処理を完了してから記憶手

50

段 4 0 4 に記憶した各種録画ファイルを消去する。

【 0 0 6 9 】

以上、録画装置 4 0 0 における録画処理、変換処理、出力処理の一連の流れについて説明を行ったが、本実施形態では、録画処理にて作成した録画ファイルを出力処理での出力先に応じたフォーマットの録画ファイルに予め変換しておくことにより、出力処理では利用者が選択した出力先に応じた録画ファイルを即時に提供することが可能となる。

【 0 0 7 0 】

では、次に、出力処理について図 9 - 図 1 8 を用いて説明を行う。図 9 は出力処理のフローを示した図であり、図 1 0 - 図 1 8 は出力処理における各種画面を示した図である。図 6 の画面下方に表示される「投稿」、「携帯にダウンロード」、「DVD を作る」といったボタンを操作することで出力先が選択されると、それぞれに応じた出力処理を開始し、「投稿」が選択された場合には S 1 0 1 にて破線で囲まれる処理 A に移行し、「携帯にダウンロード」が選択された場合には S 1 1 2 にて破線で囲まれる処理 B に移行し、「DVD を作る」が選択された場合には S 1 1 9 にて破線で囲まれる処理 C に移行する。これらの処理はフローからも分かるように複数回実行することが可能であり、例えば、「DVD を作る」処理を行った後「携帯にダウンロード」する処理を行うことや、複数枚 DVD を作ること等が可能となっている。

10

【 0 0 7 1 】

S 1 1 9 にて「DVD を作る」が選択された場合には、S 1 2 0 にて利用者により DVD がセットされるのを待つ。この DVD は録画装置 4 0 0 に専用のものであって、予め DVD 製造業者のみが書き込み可能な領域に識別子が書き込まれている。利用者は、この専用の DVD を店舗にて予め購入し、DVD ドライブ 4 0 5 にセットする。録画装置 4 0 0 では、識別子に基づいて専用の DVD が否かを判断し、専用のものであれば次の処理に進み、専用のものでなければ DVD を排出すると共に、利用者に対して使用できない旨を表示する。

20

【 0 0 7 2 】

DVD がセットされた録画装置 4 0 0 は、図 1 0 に示す動画選択画面にて、利用者から DVD に記録する録画映像の選択を受け付ける (S 1 2 1)。図 1 0 には、録画された 5 つの録画映像を示しており、それぞれについて、曲名、歌手名、録画日時、録画モードが表示されている。画面右に表示されている「自」、「カ」、「芸」は、それぞれ、自分撮、カラオケ撮、芸能コンテンツといった録画モードにて録画されたことを示している。また、この画面において各録画映像にタッチすることで対応する録画映像を試聴、あるいは、プレビューすることが可能となっている。

30

【 0 0 7 3 】

S 1 2 2 では、利用者により図 1 0 の画面にて記録する録画映像が選択される。画面左に示される丸印は、記録のために選択された録画映像であることを示したものである。図 1 0 では 1、3、5 番目の録画映像が選択された状態を示している。選択後、画面下方に表示される「OK」ボタンがタッチされると、選択された録画映像に対応する録画ファイルについて、次の S 1 2 3 にて DVD への書き込みが開始される。

【 0 0 7 4 】

S 1 2 3 では、S 1 2 2 で選択された録画映像に対応する録画ファイルについて、DVD に対応したフォーマットにて書き込みが行われる。図 8 で説明したように本実施形態では、録画処理にて作成した添字なしのものが DVD 用フォーマットの録画ファイルとして既に作成されているため、S 1 2 2 で選択された録画映像について、このフォーマットの録画ファイルを記録手段 4 0 4 から読み出して書き込みを行う。書き込みが終了すると DVD を排出すると共に、表示手段 5 0 5 に DVD への出力が完了したことを表示する。

40

【 0 0 7 5 】

次に、S 1 1 2 にて「携帯にダウンロード」が選択された場合には、S 1 1 3、S 1 1 4 にて携帯にダウンロードする録画映像の選択を受け付ける。ここでの処理は、DVD 作成と同様、図 1 0 に示す動画選択画面により行われる。S 1 1 4 にて選択が行われると、

50

ダウンロードを行う際、必要となるメールアドレスの入力処理に移行する（S 1 1 5）。図 1 1、図 1 2 は、このメールアドレス入力画面を示した図であり、図 1 1 はドメイン選択を、図 1 2 ではドメイン以外を入力を行う画面となっている。図 1 1 では、各携帯キャリア会社のドメイン名が表示され、利用者はこの中の 1 つを選択して、図 1 2 のメールアドレス入力画面に進む。図 1 1 にて選択したドメイン名が入力されており、利用者はドメイン名以外の部分を表示されているソフトキーボードを利用して入力する。入力が完了すると図 1 3 の画面にて、メールアドレス、携帯情報端末にダウンロードする録画映像を確認させる。入力情報に間違いなければ、利用者は「OK」ボタンにタッチして入力を確定する。

【0076】

S 1 1 7 では、確定した情報に基づいて、録画ファイルをホスト装置 1 0 0 にアップロードする。フォーマットが携帯キャリア会社に対応している場合には、図 1 1 で示す画面にて携帯キャリア会社に対応するドメイン名が指定されているため、当該携帯キャリア会社に対応したフォーマットの録画ファイルのみをアップロードすればよい。しかしながら、フォーマットが携帯機種に依存している場合や、アップロード後、携帯サイトにて公開して他の携帯へのダウンロードを行うサービスを考えると、携帯用として作成した全てのフォーマットの録画ファイルをアップロードすることが望ましい。また、DVD 用、投稿サイト用フォーマットの録画ファイルについても一緒にアップロードしておき、通信網を利用した各種サービスに対応できるようにしてもよい。

【0077】

録画ファイルのアップロードが完了した録画装置 4 0 0 は、図 1 4 に示す画面にて受付完了の表示を行い出力処理を完了する。画面にはホスト装置にて割り振られた受付番号が記載されており、ダウンロードなどに支障があった場合、利用者はこの受付番号にて問い合わせを行うことができる。以上、録画装置 4 0 0 側での、携帯情報端末への出力処理について説明したが、携帯にダウンロードさせる処理については後で説明を行う。

【0078】

次に、S 1 0 1 にて「投稿」が選択された場合には、まず、S 1 0 2 にて利用者は複数の動画投稿サイトの中から投稿するサイトを選択する。S 1 0 3、S 1 0 4 では投稿するドする録画映像の選択を受け付ける。ここでの処理は、DVD 作成、携帯ダウンロードと同様、図 1 0 に示す動画選択画面により行われる。S 1 0 4 にて選択が行われると、動画投稿を行うにあたって、必要となる各種情報の入力処理に移行する。入力される各種情報としては、動画投稿サイトに参加するためのメールアドレスなどの各種情報や、ニックネーム、生年月など投稿した人のプロフィールや、イベント参加のための情報などがある。入力が完了すると図 1 7 の画面にて、メールアドレスを含む各種情報や、動画投稿サイトに投稿する録画映像を確認させる。入力情報に間違いなければ、利用者は「OK」ボタンにタッチして入力を確定する。

【0079】

S 1 1 0 では、確定した情報に基づいて、録画ファイルを指定された動画投稿サイトにアップロードし、完了すると図 1 8 に示す受付が完了した旨が表示される。S 1 0 2 で指定した動画投稿サイトに対応するフォーマットの録画ファイルがアップロードされることになる。アップロードされた録画ファイルは、インターネットなどの通信網を介して広く一般に公開される。この動画投稿サイトへの投稿においても、DVD 用、携帯用、他の動画投稿サイト用のフォーマットでの録画ファイルを、同時にホスト装置 1 0 0 に送信しておき、通信網を介した後の各種サービスに対応できるようにしておくもよい。

【0080】

以上、録画装置 4 0 0 側での出力処理について説明したが、ホスト装置 1 0 0 にアップロードされた録画ファイルを携帯情報端末としての携帯電話 6 0 0 にダウンロードする処理について図 1 9 を用いて説明する。

【0081】

図 1 9 は、ホスト装置 1 0 0 から携帯電話 6 0 0 へダウンロードする処理を示したもの

10

20

30

40

50

である。図 9 の処理 B として説明したホスト装置 1 0 0 への送信が完了すると、当該ホスト装置 1 0 0 から S 1 1 5 にて入力されたメールアドレスに対して、録画ファイルの所在を知らせる、あるいは、録画ファイルの所在にリンクしたメールが通知される。このメールに基づいて、利用者は携帯電話 6 0 0 から配信要求を送信する。この配信要求では、アップロードした録画映像が複数ある場合には、その中から選択して配信を要求するようにしてもよい。

【 0 0 8 2 】

配信要求を受けたホスト装置 1 0 0 は、携帯会社の課金システムに通知して課金の了解を取った後、配信要求された録画ファイルを当該携帯電話 6 0 0 に対して送信する。本実施形態では、当該録画ファイルのフォーマットは、図 1 1 にて指定したドメイン名に対応する携帯キャリア会社に対応したものであるが、録画フォーマットが携帯機種毎に対応する場合には、携帯電話 6 0 0 からの配信要求において携帯機種を通知し、当該携帯機種に応じたフォーマットのものをダウンロードすればよい。このような処理にて、利用者は、録画装置 4 0 0 からホスト装置 1 0 0 に予め送信した録画ファイルを取得し、携帯電話 6 0 0 上で再生したり、着信音に登録して楽しむことができる。

【 0 0 8 3 】

以上、本発明の種々の実施形態について説明したが、本発明はこれらの実施形態のみに限られるものではなく、それぞれの実施形態の構成を適宜組み合わせ構成した実施形態も本発明の範疇となるものである。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 8 4 】

【図 1】本発明の実施形態に係るカラオケシステムを示した図。

【図 2】本発明の実施形態に係るコマンドを示した図。

【図 3】本発明の実施形態に係る録画装置を示した図。

【図 4】本発明の実施形態に係る録画モード選択画面を示した図。

【図 5】本発明の実施形態に係る各録画モードでの利用する映像、音声を示した図。

【図 6】本発明の実施形態に係る待機中（自分撮モード）画面を示した図。

【図 7】本発明の実施形態に係る録画処理における録画装置、コマンドの処理を示した図。

。 【図 8】本発明の実施形態に係る録画、変換、出力処理のタイムチャートを示した図。 30

【図 9】本発明の実施形態に係る出力処理のフローを示した図。

【図 1 0】本発明の実施形態に係る動画選択画面を示した図。

【図 1 1】本発明の実施形態に係るドメイン選択画面を示した図。

【図 1 2】本発明の実施形態に係るメールアドレス入力画面を示した図。

【図 1 3】本発明の実施形態に係る携帯ダウンロード入力情報確認画面を示した図。

【図 1 4】本発明の実施形態に係る携帯ダウンロード受付完了画面を示した図。

【図 1 5】本発明の実施形態に係る生年月入力画面を示した図。

【図 1 6】本発明の実施形態に係るイベント選択画面を示した図。

【図 1 7】本発明の実施形態に係る投稿入力情報確認画面を示した図。

【図 1 8】本発明の実施形態に係る投稿受付完了画面を示した図。 40

【図 1 9】本発明の実施形態に係る携帯ダウンロード処理を示した図。

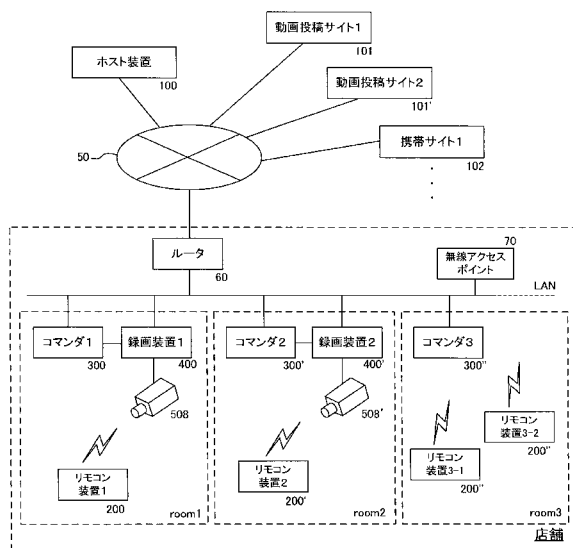
【符号の説明】

【 0 0 8 5 】

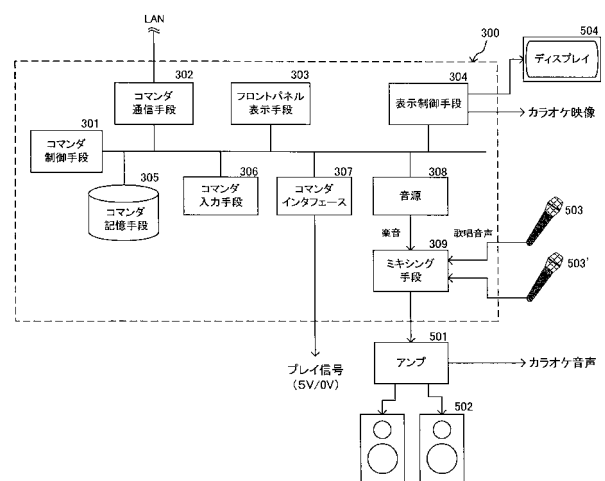
5 0 ... 通信網、 6 0 ... ルータ、 7 0 ... 無線アクセスポイント、 1 0 0 ... ホスト装置、 1 0 1 ... 動画投稿サイト、 1 0 2 ... 携帯サイト、 2 0 0 ... リモコン装置、 3 0 0 ... コマンド（カラオケ演奏装置）、 3 0 1 ... コマンド制御手段、 3 0 2 ... コマンド通信手段、 3 0 3 ... フロントパネル表示手段、 3 0 4 ... 表示制御手段、 3 0 5 ... コマンド記憶手段、 3 0 6 ... コマンド入力手段、 3 0 7 ... コマンドインタフェース、 3 0 8 ... 音源、 3 0 9 ... ミキシング手段、 4 0 0 ... 録画装置、 4 0 1 ... 制御手段、 4 0 2 ... 通信手段、 4 0 3 ... 表示制御手段、 4 0 4 ... 記憶手段、 4 0 5 ... D V D ドライブ、 4 0 6 ... U S B インタフェース、 4 50

07 ... 取込手段、501 ... アンプ、502 ... スピーカ、503 ... マイクロフォン、504 ... ディスプレイ、505 ... 表示手段、506 ... タッチ式センサ、507 ... タッチパネル、508 ... カメラ

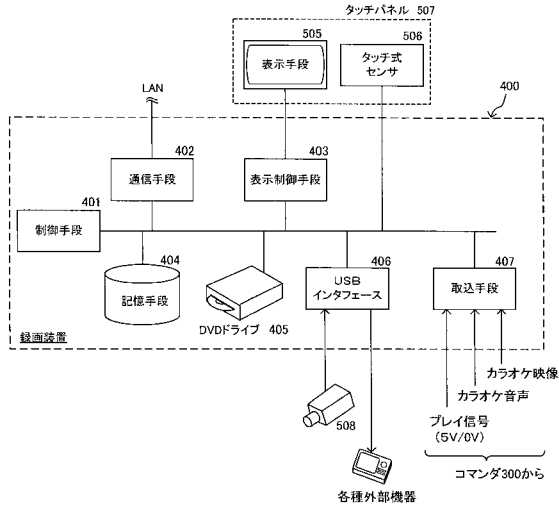
【図1】



【図2】



【図 3】



【図 5】

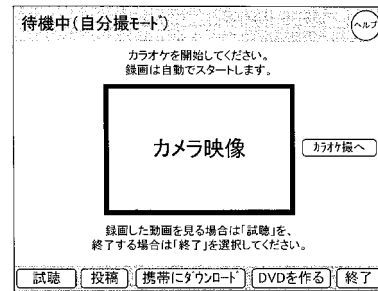
	自分撮	カラオケ撮	芸能コンテンツ
カメラ映像	○	×	○
合成用映像	×	×	○
カラオケ映像	×	○	×
カラオケ音声	○	○	○

(A)

	自分撮	カラオケ撮	芸能コンテンツ
カメラ映像	○	×	○
合成用映像	×	×	○
カラオケ映像	×	○	×
背景映像	×	○	×
歌詞映像	選択可	選択可	選択可
楽音	○	○	○
カラオケ音声	○	選択可	○

(B)

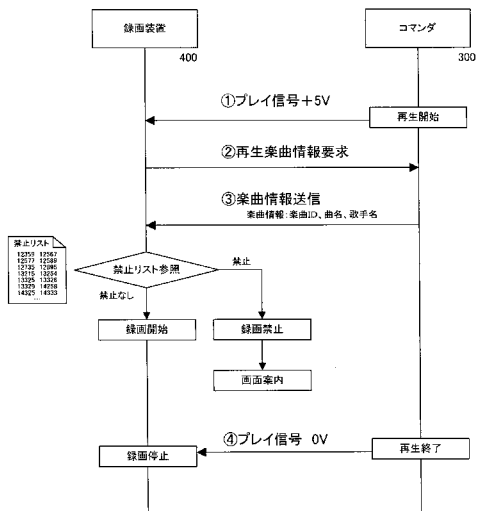
【図 6】



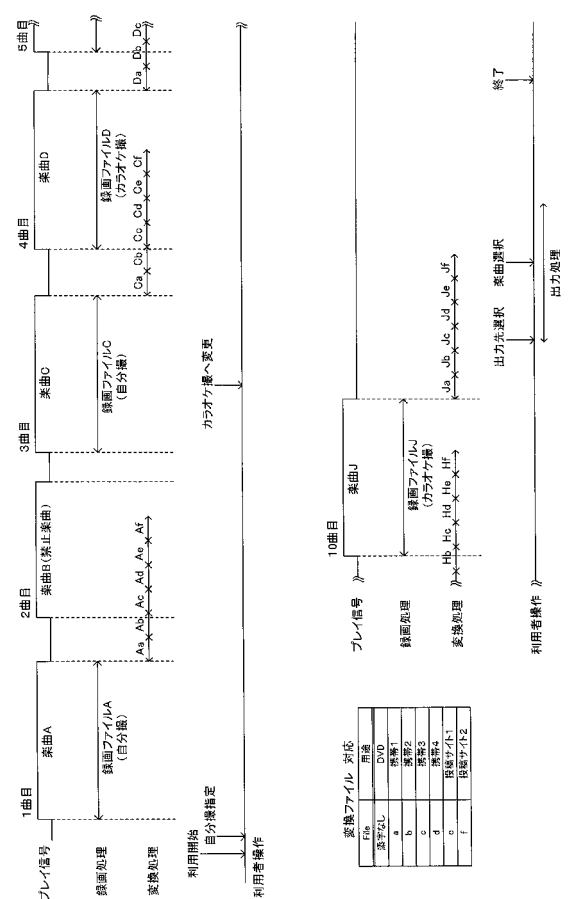
【図 4】



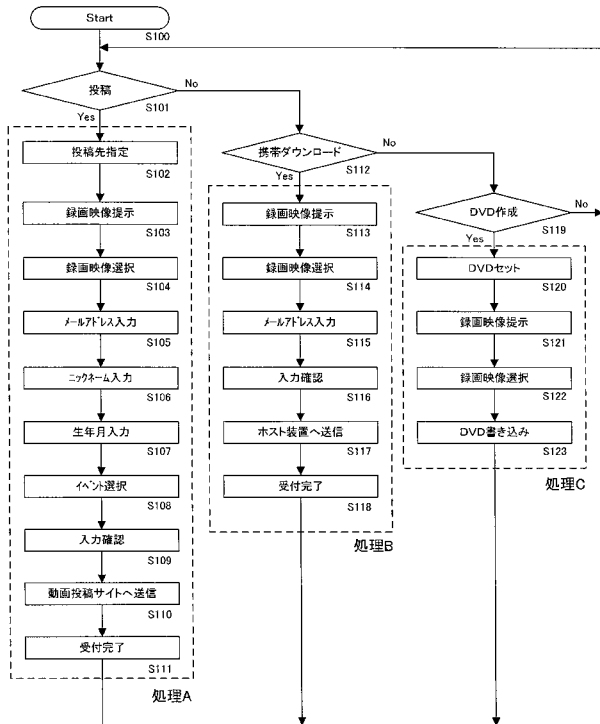
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

動画選択 ヘルプ

動画にチェックを入れて、「OK」を押してください。
動画を試聴する場合は、曲名を押してください。

☐	1. ある証拠/ACEDMAN	2008/06/08 12:58	自
☐	2. 季節の火/ACEDMAN	2008/06/08 13:02	力
☐	3. AM200/Red Cord	2008/06/08 13:08	力
☐	4. おねがい/C's	2008/06/08 13:15	芸
☐	5. 愛歌/平居健	2008/06/08 13:23	自

<前のページ 1/3 前のページ>

【図 11】

ドメイン選択 ヘルプ

メールアドレスの@マーク以降を選択して「OK」を押してください。

☐	domomo.me.jp	☐	eazyweb.me.jp
☐	softbanco.me.jp	☐	d.yodaphone.me.jp
☐	e.yodaphone.me.jp	☐	f.yodaphone.me.jp
☐	g.yodaphone.me.jp	☐	h.yodaphone.me.jp
☐	deseney.me.jp	☐	millcom.me.jp

【図 12】

メールアドレス入力 ヘルプ

携帯電話のメールアドレスを入力して、「OK」ボタンを押してください。

@domomo.me.jp

【図 13】

入力情報確認 ヘルプ

下記の情報で、指定された動画を送信しますよろしいですか？

●メールアドレス/ID
acegikmoq@domomo.me.jp

1. ある証拠/ACEDMAN	2008/06/08 12:58	自
2. AM200/Red Cord	2008/06/08 13:08	力
3. 愛歌/平居健	2008/06/08 13:23	自

【図 14】

受付完了 ヘルプ

受け付けNo.XXXXXXXXXXにて受付致しました。

反映までには少々お時間がかかります。

反映されたらメールでお知らせ致します。

【図 15】

生年月日の入力 ヘルプ

生年月を入力してください。

年 月生まれ

【図 16】

イベント選択 ヘルプ

参加したいイベントをチェックしてください。
未選択可

☒ 1. 第155回うたブログCUP
☐ 2. 第156回うたブログCUP
☐ 3. 第157回うたブログCUP
☐ 4. 第158回うたブログCUP
☐ 5. 第159回うたブログCUP

◀ 前のページ 1/2 次のページ ▶

戻る OK 終了

【図 18】

受付完了 ヘルプ

うたブログへの投稿を実行いたしました。

モード変更 携帯にダウンロード 他の投稿サイトにも投稿 DVDを作る 終了

【図 17】

入力情報確認 ヘルプ

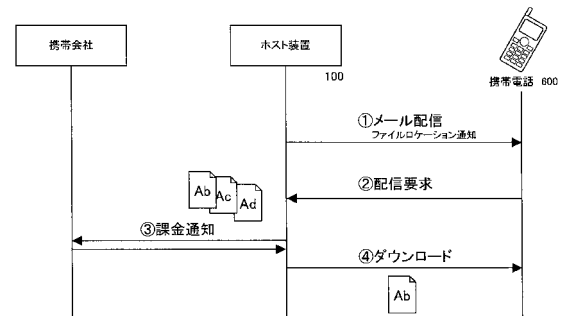
下記の情報で、指定された動画をうたブログに投稿しますがよろしいですか？

●メールアドレス
 ●ニックネーム
 ●生年月
 ●イベント

1. ある証拠/ACEDMAN	2008/06/08 12:58	自
2. AM2:00/Red Cord	2008/06/08 13:08	力
3. 愛歌/平居健	2008/06/08 13:23	自

戻る OK 終了

【図 19】



フロントページの続き

(72)発明者 楮 修

東京都港区赤坂九丁目 7 番 1 号

(72)発明者 栗田 秀樹

東京都港区赤坂九丁目 7 番 1 号

(72)発明者 石原 裕介

東京都港区赤坂九丁目 7 番 1 号

(72)発明者 松原 史和

東京都港区赤坂九丁目 7 番 1 号

F ターム(参考) 5D044 AB05 AB07 BC01 BC02 CC04 GK07 GK10 HL11
5D108 BG08 BH03